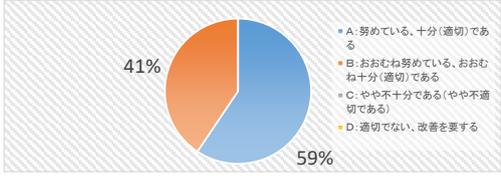
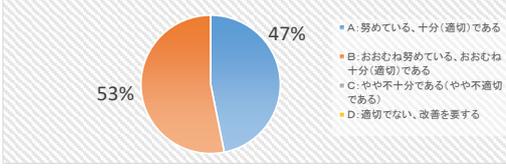
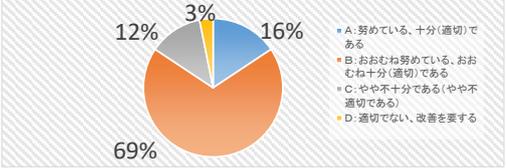
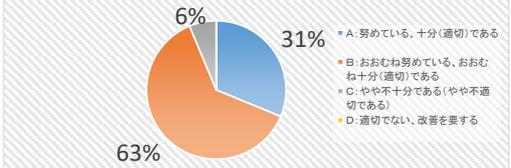
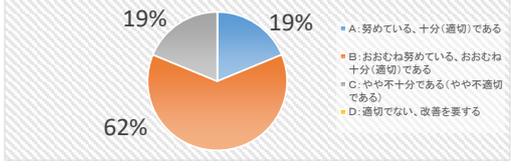


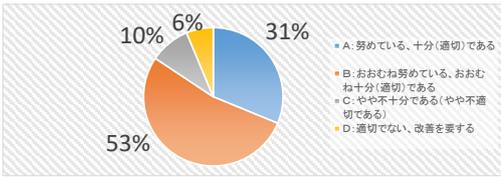
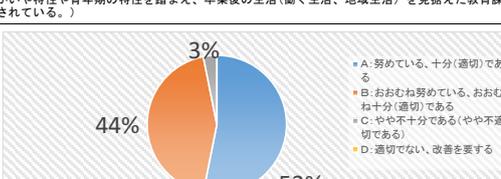
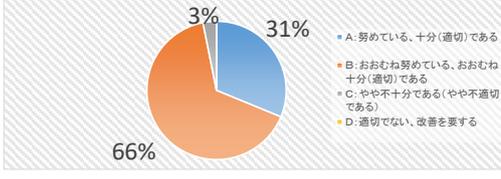
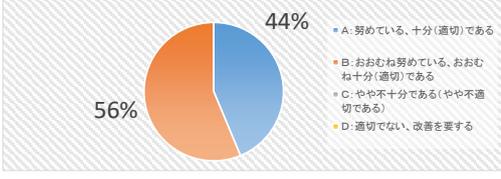
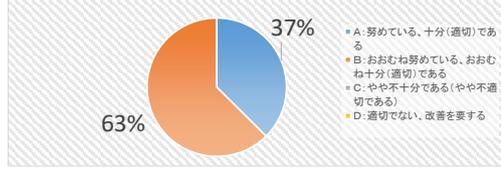
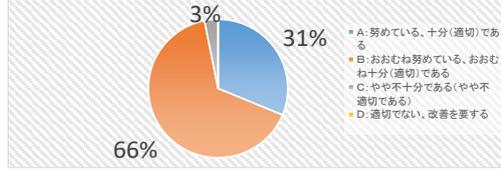
令和4年度学校評価集計結果（教職員）

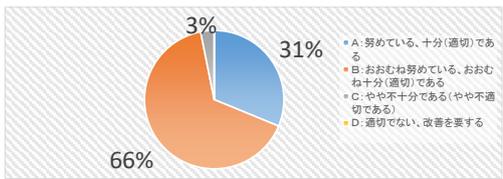
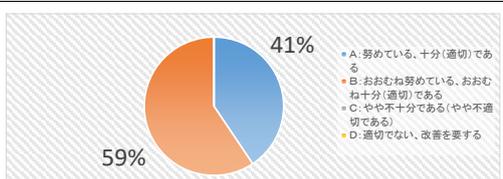
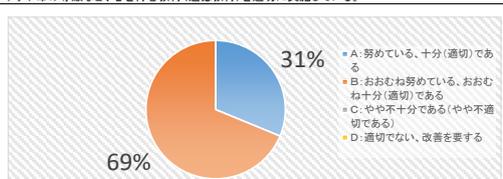
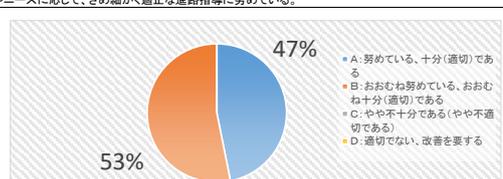
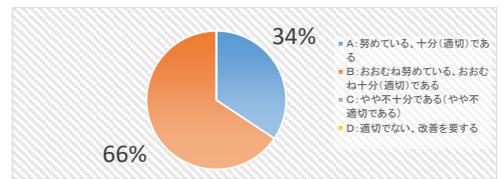
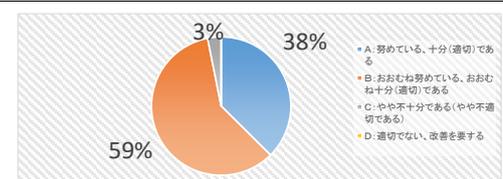
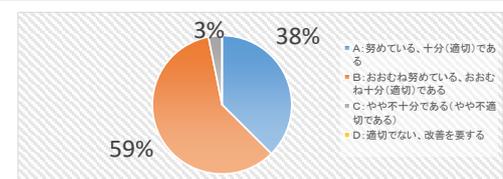
/32

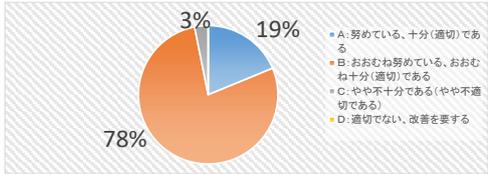
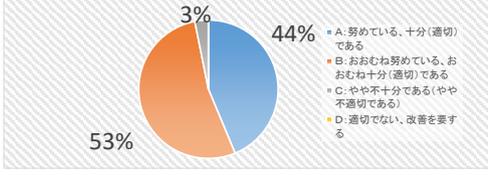
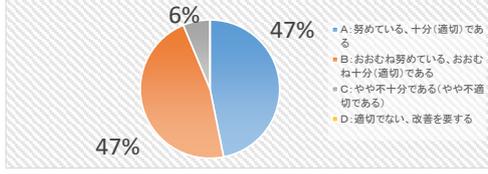
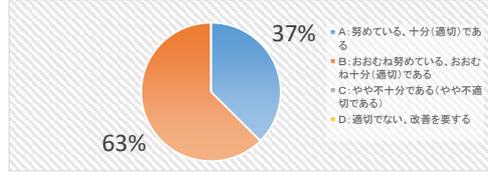
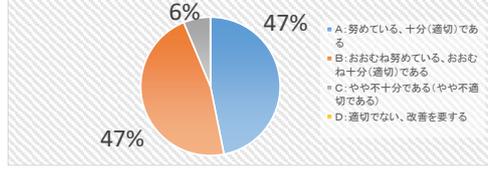
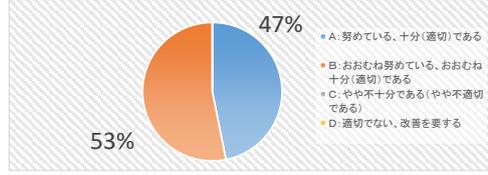
「A：努めている、十分（適切）である」「B：おおむね努めている、おおむね十分（適切）である」「C：やや不十分である（やや不適切である）」
 「D：適切でない、改善を要する」

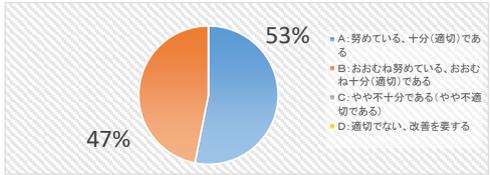
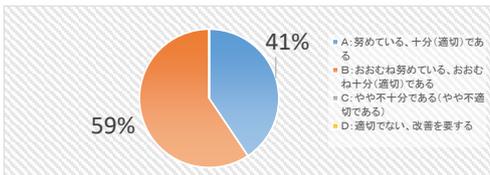
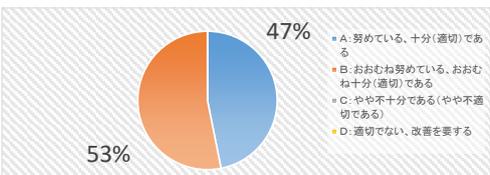
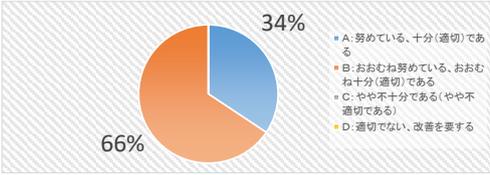
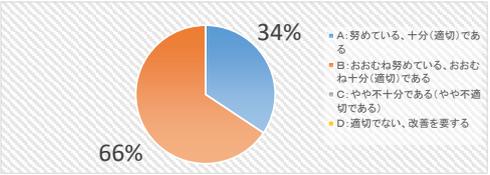
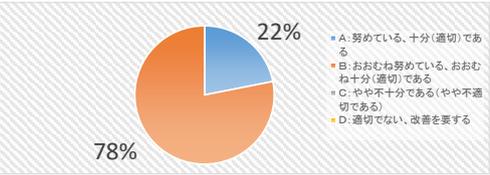
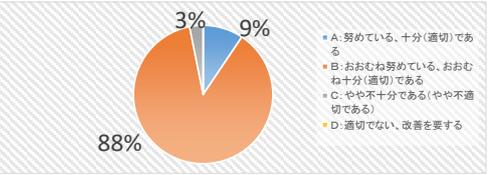
※A：4点 B：3点 C：2点 D：1点 で平均点を計算

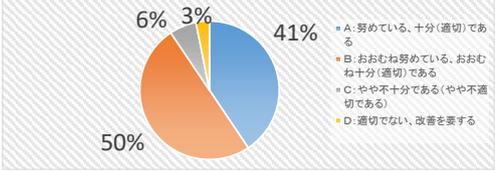
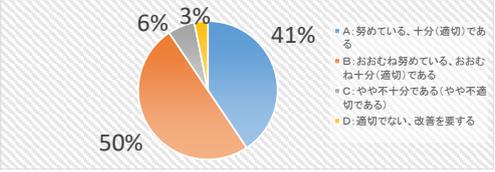
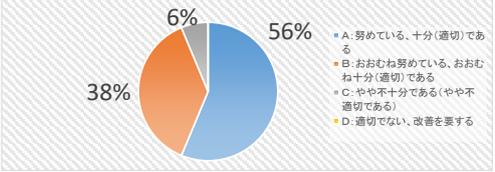
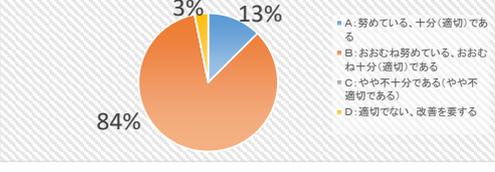
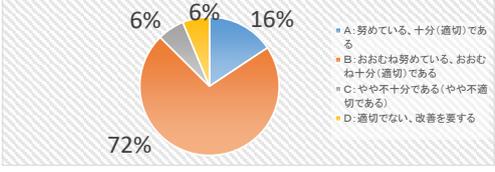
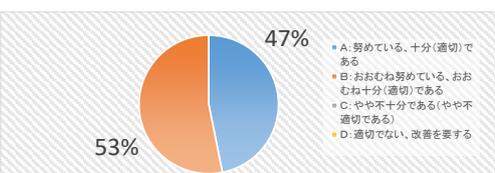
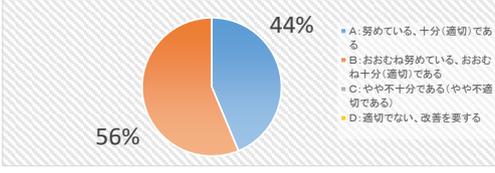
区分	評価項目	平均点(昨年)
NO.1	<p>本校の教育目標は、生徒の実態や家庭、地域の願いを踏まえて設定されている。</p> 	3.59 (3.34)
NO.2	<p>学校グランドデザイン、学校教育目標や学校経営方針を踏まえ、具現化するという意識を持って日常の教育活動を行っている。</p> 	3.47 (3.17)
NO.3	<p>分掌及び事務、学科、学年の運営は、報告、連絡、相談、調整が適切に行われ、かつ組織的に行われている。</p>  <p>・学年での情報共有が月曜日と学年会のみのため、リアルタイムではない。また、全学年で全体周知を『重大なこと』と捉え過ぎており、些細なことでも情報共有していくことで、この学校がもつ「ひそひそ感」の解消につながるのではないかと思う。</p> <p>・学年間で共有されていることが他学年や職員全体に周知されていないことがある。また、事後報告等が多く、職員全体が知らないまま物事が進んでいることも多い。職員全体で組織的な運営というよりは一部の職員での決定事項も多いような気がする。</p> <p>・報告、連絡、相談ができていない場面があった。</p> <p>・ほぼ適切だが、一部調整不十分であったり、共通認識されていないことがあったため。</p> <p>・組織的という点においては不十分ことが多い。</p>	2.97 (3.09)
NO.4	<p>分掌及び事務、学科、学年、各種委員会の業務について反省や評価を計画的に行い、改善充実を図っている。</p>  <p>・改善に向けた取り組みはされているのでしょうか。反省が生かされていない場面が気になることが多い。</p> <p>・校内全体で確認されている教育活動に対して、今までの成果や検証結果を確認しないまま、各部署での意見ではない個人意見が、会議にあげられることがある。</p>	3.25 (3.06)
NO.5	<p>協同的で機能的な組織編成であるとともに、適切に業務分担や連携が効率的に行われている。</p>  <p>・一部、業務分担などの偏りがうかがえる。</p> <p>・業務分担に偏りが現れることがある。行事等に組織として動く体制づくりが必要と感じる。</p> <p>・本校は小規模校で教職員の定数もあるため、大規模校と同様の業務をこなすのは難しい。時期や年度にもよるが業務の偏りや分量が多く感じるときもある。業務の精選は必要と思われる。</p> <p>・全体的には適正に行われているが、昨年度あたりから分掌学年の連携がうまく取れなく業務が進んだり、検討の余地なく決定事項のみが、全体に周知されることが散見される。</p> <p>・一部への偏りが大きい様子が伺える。</p> <p>・いろいろな考え方はあると思うが、業務の偏りがあるように思える。</p>	3.00 (3.00)

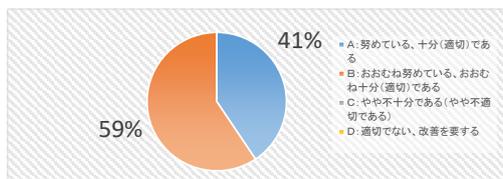
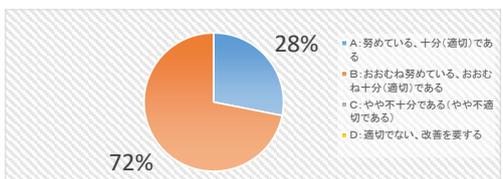
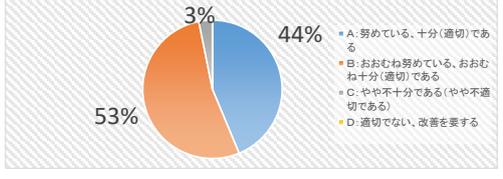
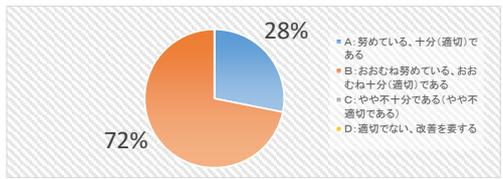
NO. 6	学科、学年で生徒情報を共有し、計画的、組織的な生徒指導や学習指導を進めている。	3. 00 (3. 31)
	 <p> A: 努めている、十分(適切)である B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である C: やや不十分である(やや不適切である) D: 適切でない、改善を要する </p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年での情報共有が月曜日のと学年部会のため、リアルタイムではない。また、全学年で全体周知を『重大なこと』と捉え過ぎており、些細なことでも情報共有していくことで、この学校がもつ「ひそひそ感」の解消につながるのではないかと感じる。 ・ 他学年の生徒情報が自分から確認したときわからない。特に、特殊事情があったとしても職員全体には周知した方がよいと思いました。(コロナ感染状況も含めて)。掲示板か、共有データとして、お知らせ的にあった方がよいと思いました。 ・ 情報の共有を図っているが、その情報をどのように生徒指導や学習活動に生かしていくか理解されていないことがある。また、生徒情報等について守秘義務が守られていないことがあり、1つ1つ確認を行わなければならないことがある。 ・ 情報共有の場があり、共有されているが、学習計画が学年主導なのか学科主導なのかあいまいで計画的な指導が難しかったため。 ・ 学年を超えた生徒情報の共有がもう少しあってもよいと思う。他学年の生徒へのアプローチの仕方にも迷う場面がある。 	
NO. 7	学校教育目標や教育方針、指導の重点に基づいた教育課程の編成及び実践に努めている。(生徒の障がいや特性や青年期の特性を踏まえ、卒業後の生活(働く生活、地域生活)を見据えた教育課程が編成、実施されている。)	3. 50 (3. 31)
	 <p> A: 努めている、十分(適切)である B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である C: やや不十分である(やや不適切である) D: 適切でない、改善を要する </p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態差が大きくなってきて、生徒によっては現教育課程が合わないと感じることがある。今後も、そのような生徒が増える傾向があるのであれば、教育課程を見直すことを考えてもよいと思う。 	
NO. 8	新学習指導要領についての研修を深め、新しい教育課程の実現に向けて積極的に取り組んでいる。	3. 28 (3. 06)
	 <p> A: 努めている、十分(適切)である B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である C: やや不十分である(やや不適切である) D: 適切でない、改善を要する </p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新学習指導要領の研修は、校内であったのかかわからないが、教育課程の実現に向けて毎年、各教科で打ち合わせをして取り組んでいる。 ・ 7番と関連付けて、少しずつでも見直していけると良い。 	
NO. 9	基礎的な力や将来の生活で活用できる力を育む学習等、学習内容の定着や学力の向上に努めている。	3. 44 (3. 31)
	 <p> A: 努めている、十分(適切)である B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である C: やや不十分である(やや不適切である) D: 適切でない、改善を要する </p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭において、コロナウイルスの影響もあるためか、縫物に関する学習が多い。将来の生活に必要な内容が家庭には多くあるので、様々な題材を通して学びを深めてほしい。 	
NO. 10	個別的教育支援計画及び個別の指導計画は、的確に目標が設定され、活用及び評価されている。	3. 38 (3. 31)
	 <p> A: 努めている、十分(適切)である B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である C: やや不十分である(やや不適切である) D: 適切でない、改善を要する </p>	
NO. 11	主体的・対話的な深い学びを目指した質の高い授業づくりを行い、授業改善に努めている。	3. 28 (3. 11)
	 <p> A: 努めている、十分(適切)である B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である C: やや不十分である(やや不適切である) D: 適切でない、改善を要する </p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対話的という点では内容によっては、対話的にならない。 	

NO. 12	<p>GIGAスクール構想に基づき、ICT機器の活用に努めている。</p>  <p>・積極的に取り組み始めている教員もいるが、学校全体としては、浸透していない。教師、生徒、家庭でも扱いに慣れるまで時間が掛かると感じる。 ・研修が分かりやすくてとても良かったが、実践にまでは至っていないため</p>	3. 28 (3. 06)
NO. 13	<p>生活安全や衛生指導など、健康・安全教育と事故防止に努めている。</p> 	3. 41 (3. 40)
NO. 14	<p>他者への思いやりや命の尊厳など、心を育む教育(道徳教育)を適切に実施している。</p> 	3. 31 (3. 29)
NO. 15	<p>生徒の実態やニーズに応じて、きめ細かく適正な進路指導に努めている。</p>  <p>・生徒や保護者と面談や懇談を通して、横断的に進路指導に努めている。また、進路担当の先生には、生徒の希望する進路について開拓を行っていただいていた感謝しかない。</p>	3. 47 (3. 37)
NO. 16	<p>問題行動や思春期(男女交際や性指導など)に対して、共通理解を図りながら生徒指導にあたっている。</p>  <p>・まずは学年間で対応をしている。しかし、問題が起こってから学部へ周知されるまで時間が掛かることがある為、何度か生徒対応に困ることがあった。</p>	3. 34 (3. 34)
NO. 17	<p>生徒理解と信頼関係の構築に努め、一人一人の良さを生かした指導の工夫を図り、生徒が主体的に判断し、共感的に理解し合う指導に努めている。</p>  <p>・作業等の指導技術の向上が必要であると感じた。</p>	3. 34 (3. 43)
NO. 18	<p>学校、家庭間で生徒の問題行動等の状況を共有し、適切に対処するための組織的な体制が整備され、機能している。</p>  <p>・一部の職員の負担が大きくなるように、もう少し組織的な対応が必要と考える。また、学年をまたいでの情報共有の不足している面も見られる</p>	3. 34 (3. 34)

NO. 19	<p>生徒の生活経験を広げるため、近隣の児童生徒及び地域の人々と交流をする機会を設けている。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ A: 努めている, 十分(適切)である ■ B: おおむね努めている, おおむね十分(適切)である ■ C: やや不十分である(やや不適切である) ■ D: 適切でない, 改善を要する <p>・即売会や幼稚園への清掃活動、コロナで中止になっていたが交流学習も今年度は行うことができ、多くの機会を設けることができたのではないかと。 ・コロナの影響もあり、地域との交流の機会が減っている。 ・現状できる範囲で行えていると思う。</p>	3. 16 (2. 94)
NO. 20	<p>同好会活動で余暇の充実を目指し、生徒の興味関心や個性を生かした活動を行っている。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ A: 努めている, 十分(適切)である ■ B: おおむね努めている, おおむね十分(適切)である ■ C: やや不十分である(やや不適切である) ■ D: 適切でない, 改善を要する <p>・同好会ではなく、部活動としての形を望んでいる生徒も複数いる。同好会の形を続けるとしても、校外活動としてスポーツ大会への参加をサッカー同好会以外で取り組んでもいいのではないかと。もし、制限がないのであれば大会に向けて、練習日を設けるなどして進めていきたい。</p>	3. 41 (3. 17)
NO. 21	<p>予算の編成や執行は教育計画に基づいて適切に管理・執行が行われている。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ A: 努めている, 十分(適切)である ■ B: おおむね努めている, おおむね十分(適切)である ■ C: やや不十分である(やや不適切である) ■ D: 適切でない, 改善を要する <p>・執行については、一部、組織的、計画的という点において不十分ところがあると思う。 ・予算の編成や執行について、動きが見えないことがある。(コロナに関する予算を含む)</p>	3. 41 (3. 34)
NO. 22	<p>情報モラルを厳守した教育及び学習環境の整備、情報機器の活用を努めている。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ A: 努めている, 十分(適切)である ■ B: おおむね努めている, おおむね十分(適切)である ■ C: やや不十分である(やや不適切である) ■ D: 適切でない, 改善を要する 	3. 38 (3. 34)
NO. 23	<p>校舎内外の安全な環境整備に努めている。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ A: 努めている, 十分(適切)である ■ B: おおむね努めている, おおむね十分(適切)である ■ C: やや不十分である(やや不適切である) ■ D: 適切でない, 改善を要する <p>・校舎の壁が崩れかけている場所もあり、修理の予算請求等を行いつつながら必要ではないかと。 ・玄関の位置もあって、学校祭などの行事等、把握できないままに出入りできる状況にあると思われる。懇談時など、保護者も、いつの間にか控室で待っていることがあるなど確認が必要である。</p>	3. 41 (3. 37)
NO. 24	<p>危機管理意識を持って事故防止や事故発生時に適切な対応ができるように努めている。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ A: 努めている, 十分(適切)である ■ B: おおむね努めている, おおむね十分(適切)である ■ C: やや不十分である(やや不適切である) ■ D: 適切でない, 改善を要する 	3. 47 (3. 23)

NO. 25	いじめのない教育環境を整え、トラブルがあったときは適切な対応をしている。 	3. 53 (3. 43)
NO. 26	生徒の健康を日常的に把握し、心身の病気の予防や早期発見に努め、生徒のストレス対応能力や健康管理能力の向上のための指導が適切に行われている。 	3. 41 (3. 31)
NO. 27	新型コロナウイルス感染症等の感染症予防に対して適切に対応している。(手洗い、消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス、飛沫防止など) 	3. 47 (3. 46)
NO. 28	事故、事件、災害などに適切に対処できるように、必要な実践的な訓練や組織的な対応方法(マニュアル)が整備されているか。 	3. 34 (3. 17)
NO. 29	廊下や教室など、掲示物を含め整理・整頓がされているか。 	3. 34 (3. 34)
NO. 30	教職員は、校内研究について共通理解のもと、計画的に進めている。 	3. 22 (3. 14)
NO. 31	教職員は、校内研究や研修会に積極的に参加し、専門性の向上に努めている。 	3. 06 (2. 94)

NO. 32	<p>教職員は、生徒の人格を尊重する(生徒に対する言葉遣いや態度など)立場で接している。また、不安や悩みを受け止め、心理状況を把握し適切な相談に努めている。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● A: 努めている、十分(適切)である ● B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である ● C: やや不十分である(やや不適切である) ● D: 適切でない、改善を要する <p>・生徒との会話一つでも、ねらいをもったものでなければ、事故があった際に説明することができない。 ・意図を明確にしたやり取りを意識してほしい。 ・生徒に対してというよりは、職員室で言葉遣いや態度が気になるときにたまに見られる ・生徒との関係性が取れていない場面を見かける。 ・一部、気になるかわりを目にするにはあるが、おおむね良い。</p>	3. 28 (3. 17)
NO. 33	<p>教職員自ら、挨拶、マナー、身だしなみ、時間などに気を付け、節度ある態度や行動に努めている。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● A: 努めている、十分(適切)である ● B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である ● C: やや不十分である(やや不適切である) ● D: 適切でない、改善を要する <p>・生徒の見本や手本になるような態度や行動ではない場面を見かける。 ・職員のマナー、身だしなみ、時間などの意識が低いように感じられる。 ・身だしなみについては、どうなんですか・・・(服装) ・チャイムがなくなってから授業への移動を始める人が増えてきたように思う。生徒は教師の動きをよく見ています。</p>	3. 28 (3. 37)
NO. 34	<p>教育公務員として自覚を常に持ち、体罰の防止や個人情報保護及び交通違反やハラスメントなどの事故防止に努めている。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● A: 努めている、十分(適切)である ● B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である ● C: やや不十分である(やや不適切である) ● D: 適切でない、改善を要する <p>・コロナ感染の情報は、個人情報として配慮するべきではあるが、本人が自覚していない感染経路があることをふまえて、職員には情報共有してほしい。もちろん生徒には秘匿するものとして。 ・自覚が足りないと感じる場面も見られるようになってきました。</p>	3. 50 (3. 57)
NO. 35	<p>効率的・効果的な指導体制が生まれ、生徒と向き合う時間や授業準備や学級事務などの時間が確保されている。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● A: 努めている、十分(適切)である ● B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である ● C: やや不十分である(やや不適切である) ● D: 適切でない、改善を要する <p>・生徒と向き合う時間に個人差がある。</p>	3. 06 (3. 17)
NO. 36	<p>会議の効率化や業務の効率化を図り、勤務時間を意識した業務を推進している。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● A: 努めている、十分(適切)である ● B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である ● C: やや不十分である(やや不適切である) ● D: 適切でない、改善を要する <p>・休憩時間にも会議が入ることがある。 ・会議の効率化をもっと図った方が良いと思いました。協議場面の焦点化、会議資料の事前配付、クラウドの活用など工夫や改善ができると思いました。 ・教頭先生から運動時間についてしっかり呼びかけをしてくださっているので助かっている。 ・休憩時間や勤務時間外に会議や打ち合わせが設定される事が常態化している。休憩時間や就業時間にチャイムを鳴らして区切りを設けるなど、職員の意識改革が必要と感じる。 ・「テータに入ります」で済まされることが多く、状況によっては逆に効率の悪さを感じる場合がある。 ・休憩時間に会議等を設定しないでほしい。</p>	2. 97 (2. 97)
NO. 37	<p>学校の教育方針や教育活動について地域や保護者、関係機関等に対して適切に情報発信を行っている。(学級通信、学年通信、ホームページなど)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● A: 努めている、十分(適切)である ● B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である ● C: やや不十分である(やや不適切である) ● D: 適切でない、改善を要する 	3. 47 (3. 40)
NO. 38	<p>進路や福祉に関する、情報提供や連絡を迅速に行い、きめ細かく適正な進路指導に努めている。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● A: 努めている、十分(適切)である ● B: おおむね努めている、おおむね十分(適切)である ● C: やや不十分である(やや不適切である) ● D: 適切でない、改善を要する 	3. 44 (3. 37)

NO.39	<p>生徒の指導や課題解決に向けて、保護者と共通理解・連携を図るように誠実に対応している。</p> 	3.41 (3.34)
NO.40	<p>在学中や卒業後に向けて、医療機関や相談機関等との連携を図っている。</p> 	3.28 (3.29)
NO.41	<p>教育相談や地域の小中学校及び高等学校への支援など、特別支援学校のセンター的役割を果たしている。</p>  <p>・中学校段階での進路指導など、小、中学校教員への働き掛けについてはより一層の課題になっていると感じる。 ・入学後に分かる情報の中には、教育相談の段階で確認できることもあるので、事前の情報収集の充実を今後もお願いしたい。</p>	3.41 (3.46)
NO.42	<p>PTA活動は、保護者と連携して会員が積極的に参加し、充実した内容となっている。</p>  <p>・感染状況を確認しながら、日常的に行われたPTA活動が少しずつ再開されている。</p>	3.28 (3.14)
<p style="text-align: center;">課題等</p> <p>①学校経営計画にある事項が現状に合っているものばかりではないような気がします。コロナウイルスの影響もあると思いますが、地域の方々との交流をしたいです。保護者、関係機関や町内会だけでなく、市内の商店街や福祉協議会など。</p> <p>②生徒、教職員ともに加重負担になってしまっている部分がある。</p> <p>③休憩時間の確保について。結構、うちの学校って休憩時間中の会議設定が多いため、休憩時間がないとき多いです。そのあたりはうちの学校では普通なのでしょうか。定時退勤とよく言われているが、金曜日の最後の集会在定時に終わることはほとんどなく、勤務時間を超えたものになることが多いです。それを見越すのであれば、16時40分からではなく、16時半とか、35分とかからでもいいと感じています。</p> <p>④様々な種類の実習があることが本校の特色にもなっていて、生徒にとっても良い体験だと思う。ただ、新担任の者にとってはそれぞれの実習の違いを理解するのが難しく、都度都度確認しつつも有効に活用するのが難しかった。長年勤務されている職員に聞かれて業務に当たることが多い立場から見ると、日々の生徒指導、行事、現場実習、進路の進め方など、様々な機会に「暗黙の了解」があり、それを理解するのがとても難しかった。</p> <p>⑤性に関する内容について、3年間をかけて体系的に指導できる仕組みがあると良い。</p> <p>⑥休憩時間に会議など設定されているが、用事等ある時には非常に困ります。</p> <p>⑦指導の一貫性について。全体として捉えていかなければいけない部分で、各学年の捉え方に違いを感じることもある。</p> <p>⑧会議で決まったことが反映されず、次の会議に違う内容として資料に記述され、検討されないまま決まってしまう等、どこでどのように決まったのかが分からない内容の会議や内容が幾つかあった。また、各学級や特別委員会等の検討前に一部の関係者だけで話し合われた内容が、検討ではなく確認として会議に出されることがあった。そのため、現状に至っている経緯やおさえは確認されておらず、情報共有もされていない案件が増えている。</p> <p style="text-align: center;">改善策</p> <p>①以前から行われている良いものもたくさんあるので、それを生かしながら、いろいろとリニューアルしていくと良いと思います。</p> <p>②少しずつ業務が整理されてきてはいるが、委員会の数など精選が必要な時期に入ってきている。10年目を迎えるが、学習指導要領が10年に1回変わるように現代社会にあった教育活動を精選が必要。また、働き改革と言われる中で教師の勤務時間に影響が出ない取り組みが必要だと考えられる。</p> <p>④4月の段階で、それぞれの実習の違いや特徴などを知る研修会などを設けていただけたら、理解がよりスムーズになると思う。校内人事の時点で、勤務年数も考慮に入れた配置をお願いしたい。(様々な事情が絡んでの人事決定だということは承知の上、できればという希望を込めての意見です)</p> <p>⑤全学年に渡るカリキュラムの作成</p> <p>⑥休憩時間、以外に会議の設定をする。</p> <p>⑦総務会議を利用し共通確認するなどし、一貫性のある指導を進めていけたらと考える。また、総務会議等で話し合われたことは、各学年間で必ず情報確認し、教職員の意識につなげていってほしいと願っている。</p> <p>⑧現状に至っている経緯やおさえを確認し、会議で検討しながら方向性などを共通理解するとともに、決まった内容を今よりも定期的に全体周知しながら、共有して進めていくことが必要であると考える。</p>		